

# 県立日南病院を受診された患者様へ

当院では下記の症例研究に協力しています。

協力の際に当院から研究機関に提供する患者情報は、個人が特定されない匿名化されたものとなりますが、この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	院内がん登録とDPCを使ったQI研究(2020年症例)
研究機関及び研究責任者	国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 医療政策部部长 東 尚弘
本研究の目的	平成19年にがん対策基本法が制定され、がん診療均てん化のための方策が多角的に打ち出されています。しかしながら、その対象である診療実態を継続的に検討するような体制は未整備です。原因の一つは、いろいろなデータが独立に集積され活用されていないためと考えられます。そこで、本研究では、院内がん登録とDPC(Diagnosis-Procedure Combinationと呼ばれる診療データ)の一元管理を試み、がん医療の実態を把握するデータベースを構築するとともに、その活用法を検討することを目的とします。
調査データの該当期間	2019年10月1日～2022年3月31日
研究対象者	院内がん登録実施施設であり、本研究参加施設である県立日南病院の院内がん登録2020年症例に該当する患者様
研究の方法(使用する情報)	当院から研究機関に提供する情報は、院内がん登録情報とDPCデータです。これらのデータに含まれる情報のうち、性別、診断名、診断年月、初回治療方針、ステージ、施設名、入退院年月日、診療明細等が研究に使用されます。
資料・情報の他機関への提供	なし
個人情報の取扱い	個人情報、研究参加施設において連結可能匿名化と暗号化を行います。国立がん研究センターへのデータ提供は、アクセス権を付与された担当者のみが利用できるシステム上で行われます。収集されたデータは国立がん研究センターの高セキュリティ領域に保存され、研究責任者により個別のアクセス権を付与された者のみがアクセスできる状態で保管されます。外部へのデータ提供は行われません。外部への成果の公表は、学会・論文発表あるいは公開の報告書といった形で行われ、学術・がん対策に活用されます。報告に際しては、常に集団を記述する数値データのみでの報告とし、個人が特定される可能性のある個別データの報告・公表は一切行わない、かつ特定の個人が発表成果から同定できないように十分に配慮されます。集められた個々のデータに関しては、研究期間終了後は復元不可能な形で破棄されます。
当院データ提出担当者	野邊 千加 (診療情報管理室)
本研究の資金源(利益相反)	国立がん研究センター研究開発費及び厚生労働省委託費・がん対策評価事業の二つを財源としています。他の団体からの資金提供は受けておらず、起こりうる利益相反はないとのことです。
お問い合わせ先	県立日南病院 事務部医事・経営企画課長 園部 太郎 電話：0987-23-3111